



12月9日(金)の午後、「第3回学校運営協議会」を開催しました。今までと同様、5時間目の授業を参観した後、感想の交流や教育活動についての協議をしました。今回の協議の中心は、11月25日(金)に行われた「教育環境整備に関する意見交換会」で出された意見の内容についてでした。協議をする中で、檜邑学区に住んでいるこれからの未来を担う若い人の意見を聞くと、今何をしておくべきかを含めてさらに教育活動の内容が深まるのではないかという意見が出されました。そして、令和5年3月に意見交換会を行う方向で調整を進めています。『若人たちの意見交換会』、ぜひ実現したいです。



かしむら コミュニティ・スクール つうしん

令和4年12月号 檜邑小学校運営協議会 発行(文責: 山本信子)



【授業を参観して】

- ・どの学級もととても楽しそう。 ・児童参加型の授業でとてもよい。
- ・子ども同士の会話がよくできていて、子どもたちで解決しようとしているのがよい。
- ・先生の待つ姿勢が素晴らしく、子どもと一緒に喜んで満足感、達成感を味わっている姿がよい。
- ・上級生の姿勢(学びに向かう姿)が、下級生のお手本になっている。



【今年度の修繕について】

今までに、体育館の幕、体育館屋根、校舎南側タイルを修繕しました。今後、体育館入り口の修繕を予定しています。

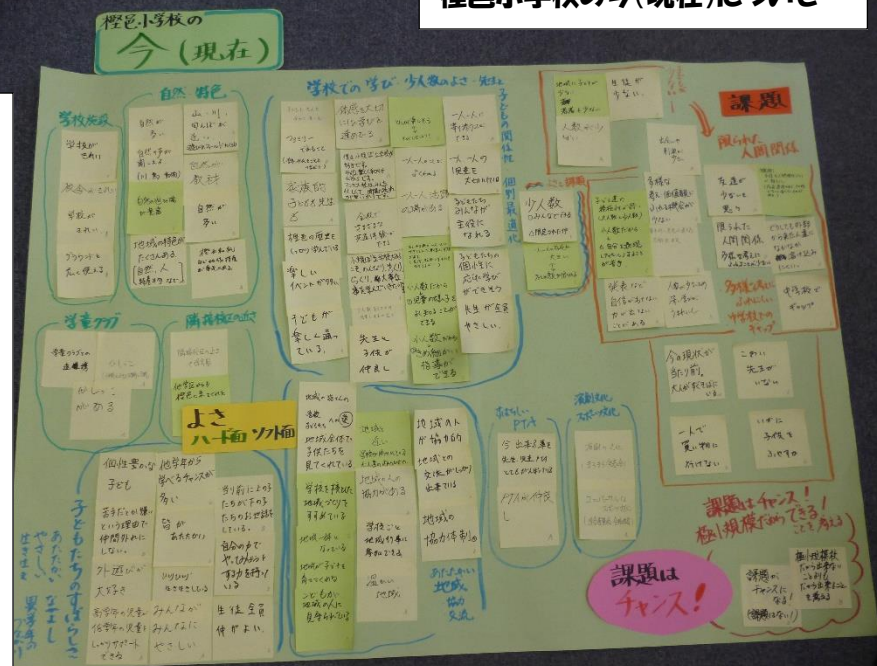
【よいよい檜邑小学校づくり アンケートの結果について】

「個人個人のフォローを大切にしてほしい。自己肯定感が低いのが気になる。」という意見をいただきました。

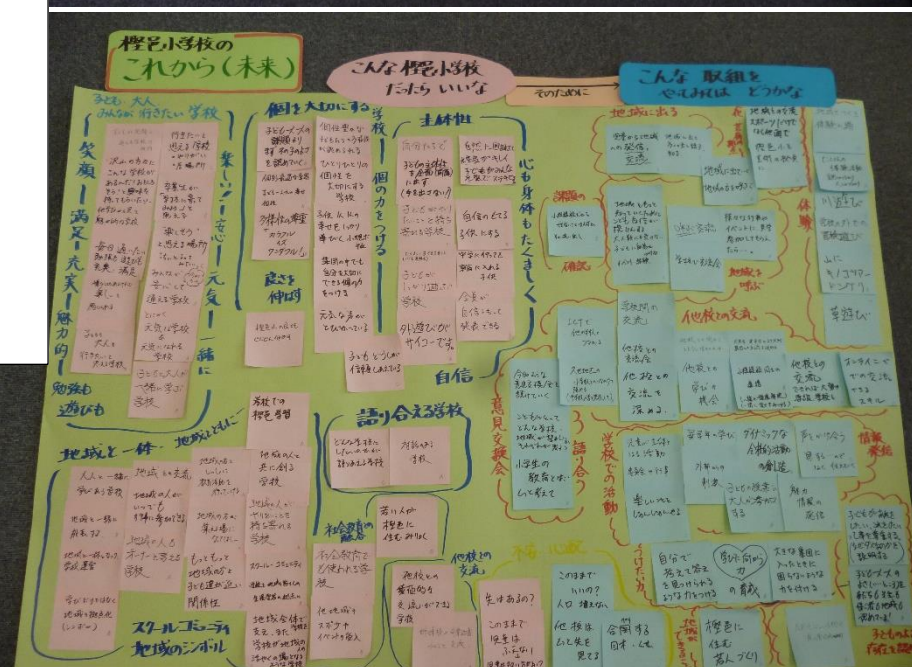


十一月二十五日（金）「教育環境整備に関する意見交換会」で出された意見

梶邑小学校の今（現在）について



梶邑小学校のこれから（未来）について



【意見交換会を受けての協議】

- 意見交換だけで終わってはもったいない。
→ 課題を確認し、どう取り組むか考える。
- 交換会のメンバーを考えていく必要があるのでは。
→ 若い世代の現実的な意見を聞く会をもつ。
- 現在の良いところは伸ばしてほしい。
→ よさを大切にする学校、地域であり続ける。
紙漉きを他校の小学生に教える交流があってもよい。
- 教育活動がとも充実している。将来どうなるのか知りたい。
→ 卒業生が評価することが大切。
中高生の意見を小学校の教育活動に反映させる。
- 梶邑の歴史を地域で残していく取組が必要。
→ 梶邑小学校を会場に地域の方が集って歴史を残す作業や記録をしていけるとよい。3 学期以降相談。

【学校ができること】

地域に出る、地域を招く、他校との交流、情報・魅力の発信、児童への教育活動
【新たな取組（予定）】※正式決定後チラシ配布予定です。

令和 5 年 3 月 25 日（土）18:00～「若者の意見を求む！（仮題）」

場所：梶邑小学校体育館ミーティングルーム 主催：梶邑小学校学校運営協議会

12月19日（月）
9：40～10：25
「ボッチャ大会」
※児童主催です！

1月18日（水）
9：40～11：25
「心のバリアフリー授業」
※パラリンピアン講演です！



どちらも梶邑小学校体育館で行います。ぜひお越しください。